

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしこい子:かっぱい たくましい子:やる気いっばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和6年10月31日(木)

11月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 150名

初冬を迎えて

校長 池田 誠

「仰ぎ見る 空の色さへ 澄みはてて 木枯らしの風 吹きにけるかも」

この短歌は、歌人・童話作家である 土田 耕平 さんが、「見上げた空の色さえ、澄み切ってしまったように、木枯らしが（強く）吹いていることだ」と遠くに思いを馳せた短歌です。冬の訪れを知らせる木枯らしが吹く季節となりました。この暖かさの中、木枯らしが吹く知らせはいつ頃届くのでしょうか。

今年度、初めて行う校内音楽会「和土メロディーコンサート」が近づいてきました。歌声や楽器演奏の音が学校に響いています。各学年とも練習に余念がありません。合唱や合奏は、もちろん一人ではできません。心一つに、個々のもてる力を十分に発揮できるようにして、本番に臨んでほしいと願っています。

さて、私は「人間万事塞翁が馬」という、故事成語を手帳に書き記しています。座右の銘とでもいうのでしょうか。いつでも自分が見られるようにし、大切にしている言葉の一つです。

「昔の中国で北方の胡（こ）と国境を接する地方に住んでいた老人の馬が、胡に逃げてしまったときのこと。隣人が同情すると、老人は別に悲しむことはない、この次にはどんな幸福がやって来るか分からないといって失望しなかった。数カ月して、その馬は逆に胡の馬を数頭引き連れて共に帰ってきた。喜んだ隣人がはしゃいでいると、だがこの次にはどんな不幸が身に振りかかるかもしれないといって平然としている。そのうち馬に乗ることが好きな老人の息子が、その馬から落ちて、足を折ってしまった。1年の後、胡の侵略を受けて戦争が始まり、付近の青年の多くは戦死したのだが、息子は足が悪いおかげで戦場に行かなくて済んだ。」という話から、「人生の吉凶や禍福は変わりゆくものであり、とても予想することはできない。物事に一喜一憂しない、右往左往しない。」というたとえです。

「不幸や幸福は予測できるものではない。辛いことや困難なことがあっても、それはきっとよいことにつながるはず。常に前向きに頑張ろうと自分に言い聞かせたり、くよくよせずポジティブに物事を考えたりするためにこの言葉を大事にしている。」と先輩の先生から伺いました。その話に感銘を受け、私もこの言葉を大切にしたいと思うようになりました。

学習のことや友達のこと、習いごとなどでうまくいかなかったり、悩んだりしている和土っ子もいるかもしれませんが、しかし、そのような状況はいつまでも続きません。周りの友達や家の人、先生方と力を合わせ、前向きに頑張れば、きっといいことがあると信じて、今できることを真剣に取り組んでほしいと思っています。

10月2日(水)には、農家の方々のご指導の下、5年生が稲刈り体験をしました。今年も黄金色に輝く稲を一株ずつ鎌で刈る活動を通して、収穫の喜びを味わわせていただきました。さらに収穫したお米を、給食用にも提供していただきました。5日(土)には、青少年育成会和土地区会と和土地区社会福祉協議会の共催による「いもほり大会」もありました。和土小学校と城南小学校の児童は、自分の顔より大きく実ったサツマイモをたくさん掘ることができました。その姿に役員の方は、「今年も笑顔が見られてよかった。」と話されていました。そして、13日(日)には、本校運動場で、和土地区体育振興会の主催による「和土地区運動会」が開催されました。児童も自治会の一員として多数参加し、ご家族や地域の皆様と楽しそうに競技に汗を流していました。地域で楽しそうに過ごす和土っ子の姿を見て、うれしい限りです。

22日(火)・23日(水)には、6年生が修学旅行に行ってきました。紅葉の本番を迎え始めた日光で、歴史文化遺産の東照宮や、迫力ある華厳ノ滝・湯滝の見学、戦場ヶ原のハイキングなど貴重な体験をすることができました。児童の心に残る学習になったと思っています。

異例の暖かさが続く中、学校ではサクラやツツジが咲き、一驚しました。一方では、校庭にあるケヤキやモミジなどの木々も色づき始めています。一日の寒暖の差が大きくなっていますが、保護者、地域の皆様におかれましても、心穏やかに過ごされることを願っております。



【修学旅行ハイキング 湯滝付近】